

予算を計上していくことが可能となる。

現時点においては作業中の段階であり、修繕する橋梁の詳細は確定できていない。

【農林業に関する一連の問題の取り組み】

問 農林業自給率向上への計画と取り組みについて

答 国が4月から自給率向上のための戸別所得補償モデル対策をスタートさせる。この対策は、恒常的な赤字に陥っている米に対して補填する対策をセットで行うとしている。

国が推進する作物の中には当町の自然条件に合わない作物もあるが、当町もこの対策に取り組み、国の自給率向上のための新しい農政を推進していきたいと思っている。

問 林業振興への計画について

答 町においては生産基盤の整備、計画的な森林整備、町産材の利用促進、特用林産物の生産促進などを林業振興の方針とし、事業を推進している。なお、具体的には、鬼北町森林整備計画を策定し、この計画に基づき、森林施業、作業路網の整備を実施している。

問 畜産・養鶏などへの発展計画について

答 畜産については、平成22年度にも、それぞれの畜種に対して少し

も経営安定が図られるよう支援をりたいと考えている。

問 耕作放棄地への対応策について

答 鬼北町においては、これまで、現場整備に積極的に取り組んできたことから作業効率の良い優良農地の割合が高く、耕作放棄地は少ない状況にある。今後もほ場整備が完了した優良農地などで耕作放棄地が発生しないよう農業委員会と連携し、農地パトロールによる指導や農地の利用調整を図り、耕作放棄地防止対策に取り組みたい。

問 三角ぼうし・夢産地におけるきじ肉メニューの改善について

答 現在キジ肉メニューについては、三角ぼうしでは、きじカレー、きじ釜飯、夢産地では、きじ飯、きじうどん、きじそばを提供している。2施設ともにそれぞれの経営的な面もあるが、キジは地域の特産品であるので、成川渓谷休養センターも含めて、その普及に努めていきたい。

問 温暖化対策について

答 町での具体的な取り組みとしては、ごみ焼却施設への負荷の軽減につながるごみの発生抑制・減量化と、ペットボトル・トレーなどのリサイクルによる再資源化を町民に周知・徹底して推進している。また、節水・節電の呼びかけによる省資源・省エネルギーの推進に取り組

む一方、町自ら庁舎などの冷暖房・コンピューターの適正管理、低公害車の導入等に努めている。

今後の取り組みとしては、22年度において町地球温暖化防止実行計画を県の指導により策定することとしており、温室効果ガスの排出削減のための数値目標の設定や省エネルギー・省資源の推進などの具体的な取組内容を提示して進めることとしている。

問 広見川の調査について

答 広見川の本流および支流の水質検査を毎年、定期的に実施し、水質の正確な現状認識に努めているが、広見川に生息する魚類等の調査については現在のところ実施していない。

ただ、愛媛大学の活動で、河川水質調査に続いて、今後河川生態調査として水生動植物調査を行い、それらの調査結果については一般にも展示・公表されるということであるので、町においても活用したい。

【町道「今在家線」のほころび】

問 小反丈橋の左側部分手すりの欠陥について

答 来年度の早期に修繕をする予定である。

問 奈良川沿いの路肩、溝等、修復後の破損について

答 当該道路は、平成21年度に側溝

道成川今在家線側溝整備工事327メートルを実施した。

路側については、一部分が流失していることは確認しているが、今年度は台風の影響による災害により、緊急を要する危険な箇所が町内の各所に発生したので、それらの修繕から対応をしている。

当該箇所は、高さも低く舗装路面までは異常が認められていないので、現在のところは、ポールを立てて対応しているが、順次対応していくこととしている。

【町有地内の宗教施設調査】

問 調査の進捗状況と今後の計画について

答 調査により判明した宗教的施設7件については、有形文化財として指定している下鍵山大師堂や節安花とび踊りの節安薬師堂、また、商工会や老人クラブあるいは地域団体などがお年寄りの散策コース・健康増進・観光目的として設置した近永清家公園のミニ西国三十三番札所や愛治公民館裏山のミニ四国八十八箇所など、保護対象となる文化財や伝統文化の継承、観光資源、地域親睦の場としての意義を持つ場合もあり、また、当該施設が特定の宗教組織または団体が利用しているとは言いがたいもの、所有者不明などの点から判断して、今後の取扱いについては慎重に検討していきたいと考えている。